

天気予報に関する満足度調査の結果について

気象庁では、気象情報の内容及び提供方法等の改善に活かすため、平成 13 年度から気象情報に関するアンケート調査を毎年実施し、利用者の皆様の評価（満足度・重視度）及び改善要望等を把握しています。

今年度は平成 14 年度、平成 17 年度に引き続き、天気予報、季節予報、黄砂情報及び紫外線情報について郵送調査とWEB 調査を行い、郵送調査では 1587 人、WEB 調査では 1963 人の皆様から回答を得ました。

このほど、その調査結果がまとまりましたのでお知らせします。調査結果の主なポイントは次のとおりです（結果概要は別紙を、結果詳細は別添の「天気予報に関する満足度調査 調査結果」をご覧ください）。

- ・ 天気予報全般に対する満足度は高く、「満足」「まあ満足」の合計も郵送調査で 88.2%、WEB 調査で 78.5%に達した。また、信頼度も郵送・WEB 調査ともに高く、「信頼している」「まあ信頼している」の合計が郵送調査では9割を超えた（WEB 調査ではその合計は 89.8%）。この傾向は過去 2 回の調査とほぼ変わっていない。
- ・ 各予報及び情報の満足度評価点は、郵送調査では週間予報（信頼度情報）や黄砂情報など満足度が大きく下降している項目もあるが、全体的にみると3回の調査の満足度は大きく変わっていない。また、WEB 調査についても、紫外線情報で上昇、今日・明日・明後日の予報（降水確率）で下降がみられるが、全体的には大きな変化は見られない。また、郵送調査に比べWEB 調査では満足度が低め（黄砂情報を除く）で、各予報及び情報により評価のばらつきが大きい。
- ・ 天気予報の満足度向上のためには予報精度の向上が最も重要である。このため、引き続き精度向上に取り組む必要がある。
- ・ 季節予報については前回調査に比べ利用度が上昇しているものの、他の予報と比べるとその利用度と満足度は相対的に低いことから、引き続き予報精度の向上と情報内容の改善が必要である。
- ・ 黄砂情報と紫外線情報の満足度向上のためには、予報期間の延長やウェブページ上の表示方法の改善など、予報精度以外の要因も重要である。

気象庁では先月 27 日には黄砂情報について予報期間延長とウェブページの改善を行い、今月末には前回及び今回の調査で重視度と満足度の低かった週間天気予報の信頼度情報について改善を図ります。また、調査結果に基づき今後も一層の予報精度向上と予報内容の充実に努めて参ります。